

平成22年度

宗谷シーニックバイウェイ活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ	報告者: 宗谷シーニックバイウェイルート代表 岩間 幹生	報告年月: 2011/3/31
---------------------	------------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観	雄大な自然景観及び宗谷らしい産業景観を魅せる	景観趣向に応じたビューポイントの発掘及びマップの作成	—	—	—	—	—	—	自分達の住んでいる地域を美しくすることで来訪者に対する”おもてなし”の心を表現する活動として清掃・植栽活動を行っている。 また捨てられている流木を利用したプランターづくり、冬の景観を楽しむスノーキャンドルイベントも行っている。 更に宗谷らしい道路景観を念頭に道路標識のあり方等について検討会を開催し意識醸成した。 今後、清掃・植栽活動については団体同士で連携を取り地域全体で取り組めるような体制づくりを目指したい。
		景観のための地場産業との連携	—	—	—	—	—	—	
		環境保全を兼ねた清掃活動	1	クリーンキャンペーンしりしり	利尻町建設協会・運輸協会利尻トラック部会	平成22年4月28日	約100名	SY- 1	
	魅せるための景観形成	春・夏・秋の季節に応じた植樹活動	2	稚内空港線植樹帯維持活動	フラワーマスター稚内	平成22年5月29日	約70名	SY- 2	
		アイスキャンドルやスノーキャンドルによる冬の色彩り	3	彩北わっキャナイト2011	稚内みなとまちづくり懇談会	平成22年2月14日	約1,200名	SY- 11	
		流木を活用したプランター作り	4	彩りプロジェクト2010	稚内みなとまちづくり懇談会・風のがっこう稚内	平成22年5月30日	約10名	SY- 3	
	より良い景観整備を目指す	商業看板等の規制など景観整備・保全のためのルール作り	5	宗谷らしい道路景観の検討	宗谷シーニックバイウェイ景観・環境分科会	平成23年2月2日	13名	SY- 12	
		地元人としての『慣れ』から脱却し、宗谷を再認識するための勉強会の開催	—	—	—	—	—	—	
		地域コミュニケーション形成のための、ボランティアの育成	—	—	—	—	—	—	
環境	住民及び観光客の双方にプラスとなる自然環境及び経済(財布)の両立	宗谷シーニックマイレージ等オリジナルプログラムの提案	—	—	—	—	—	—	海岸清掃については平成17年より継続的に実施し、参加者数の規模も年々増えている。外来種混入防止や除去作業についての勉強会も行った。 今後も、離島の外来種混入防止やCO2削減(カーボンオフセット)やなど環境配慮の社会情勢に連動した活動メニューを継続的に実施していく必要がある。
		観光客への啓発活動	—	—	—	—	—	—	
	自慢できる自然・雄大な自然景観の保全	環境保全のためのルール作り	—	—	—	—	—	—	
		CO2削減のための植林及び植栽活動	—	—	—	—	—	—	
		フェリー乗り場での泥落とし等外来種混入防止活動の実施	—	—	—	—	—	—	
		環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動	4	彩りプロジェクト2010	稚内みなとまちづくり懇談会・風のがっこう稚内	平成22年7月17日	約10名	SY- 3	
		道路等に散乱するゴミ処理問題に対する提案	—	—	—	—	—	—	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ		報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 岩間 幹生							報告年月:2011/3/31
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
	次世代が安心して豊かな生活を送れる地域づくり	宗谷の素晴らしさに対する認識向上及び啓発のための勉強会の開催	—	—	—	—	—	—	
		地域の将来を担う子供たちへの教育活動	—	—	—	—	—	—	
情報	宗谷人の心・温かさを感じる管内での情報発信	観光案内所及び情報ボランティア等コミュニケーションによる情報提供	6	観光案内所情報交換	宗谷シーニックバイウェイ情報分科会・各観光協会	平成22年6月1日(火)～9月30日(木)	95名	SY- 4	エリア内の観光情報について各々観光協会同士が連携して情報交換をし、対外的に情報発信している。 またルート内メンバー相互の情報共有についてもニュースレター等にて実施している。 今後、地域内での連携事業をより密にしていくためには、各々の活動団体が自主的に情報発信していく必要があるのと、それらを効率良くまとめた確に発信していく地域全体の情報管理体制を構築していくことが必要と考える。
		情報ボランティア等人材の発掘及び育成	—	—	—	—	—	—	
情報	広報戦略としての宗谷シーニックバイウェイデザインの統一	宗谷らしいシンボリックなデザインの提案	H18完了						エリア内の観光情報について各々観光協会同士が連携して情報交換をし、対外的に情報発信している。 またルート内メンバー相互の情報共有についてもニュースレター等にて実施している。 今後、地域内での連携事業をより密にしていくためには、各々の活動団体が自主的に情報発信していく必要があるのと、それらを効率良くまとめた確に発信していく地域全体の情報管理体制を構築していくことが必要と考える。
		ルート及び情報発信場所における看板等の設置	—	—	—	—	—	—	
	既往の情報発信ツールを活用したオンリーワンな情報発信	既存ツール(さいほくネット等)及び紙媒体(ポスター等)を活用した情報発信					—		
		分科会活動及び団体活動の情報共有・連絡のためのシステムづくり	—	—	—	—	—	—	
		オンリーワンな情報発信内容・方法の提案	—	—	—	—	—	—	
		情報収集方法の確立に向けたルールづくり	—	—	—	—	—	—	
	観光客の心に残る宗谷の旅の演出づくり	空港やフェリーターミナル等宗谷の玄関口における花壇・プランター等の整備	—	—	—	—	—	—	継続的に行われているイベントのほかに、本道と離島とが連携したツアーが好評を得ている。
		「歩いて逢う」をテーマとしたフットパス等の参加型・体験型メニューづくり	7	最北フラワーマラソン大会	最北フラワーマラソン大会実行委員会	平成22年6月5日	224名	SY- 5	
		稚内北防波堤ドーム及び利尻のライトアップ等第一印象のアピール	3	彩北わっキャナイト2011	稚内みなとまちづくり懇談会	平成22年2月14日	約1,200名	SY- 11	
		景観趣向に応じたビューポイントマップの作成	—	—	—	—	—	—	
		ビューポイントを効果的に結ぶルートの策定	—	—	—	—	—	—	
		三脚台の設置及び大駐車場を備えたカメラ撮影ポイントの整備	—	—	—	—	—	—	
		利尻島の桜等の植栽活動	—	—	—	—	—	—	
		景観整備及び環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動	4	彩りプロジェクト2010	稚内みなとまちづくり懇談会・風のがっこう稚内	平成22年7月17日	約10名	SY- 3	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックパイウェイ			報告者:宗谷シーニックパイウェイルート代表 岩間 幹生						報告年月:2011/3/31
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
観光	『種』から育てる新たな観光の創出	大牧草地を活用したパークゴルフ等のグリーンツーリズムの実施	—	—	—	—	—	—	これらは活動団体同士の連携により行われているものもあり、更に広がりを見せていくべきものとする。 今後、国内外問わず対外的にPRしていく必要があるものとする。
		物産等の地域限定商品の発掘及び供給システムづくり	8	日本海VSオホーツク海グルメバトル	北防波堤グルメまつり実行委員会	平成22年9月19日(日)～9月20日(月・祝)	10,080名	SY- 8	
		外国人観光及び教育・体験旅行の誘致	—	—	—	—	—	—	
	シーニックパイウェイ活動の継続及び地域への浸透	活動継続に向けた意識改革のための勉強会の実施	9	観光協会長サミット	宗谷シーニックパイウェイルート観光・情報分科会	平成22年9月17日	13名	SY- 7	
		シーニックパイウェイ活動に対する地域への浸透のためのシンポジウム等の開催	—	—	—	—	—	—	
		地域の将来を担う子供たちへの教育活動を通じた地域づくり	—	—	—	—	—	—	
	観光振興・地域づくりイベント		10	2010WAKKANAIみなとコンサート	稚内のみなとを考える女性ネットワーク	平成22年8月22日	約1,000名	SY- 6	
			11	ポニーを走らす会	稚内のみなとを考える女性ネットワーク	平成23年2月6日	約200名	SY- 10	

- 【概要】 利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃（ゴミ拾い）を行った。町内の美化に貢献し、数年続いている活動であるが、今後も継続して取り組む予定である。
- 【日時】 平成22年4月28日（水）
- 【場所】 利尻町内
- 【主催】 利尻町建設協会・運輸協会利尻トラック部会
- 【協力協賛】 利尻町観光協会
- 【参加人数】 約100名



稚内空港線植樹帯維持活動

- 【概要】 稚内空港線（稚内空港前）の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。年々参加人数も増加傾向にある。
- 【日時】 平成22年5月29日（土）
- 【場所】 稚内空港線（稚内空港前）
- 【主催】 フラワーマスター稚内
- 【協力協賛】 宗谷総合振興局建設管理部、宗谷建設青年会、稚内開発建設部、一般市民
- 【参加人数】 約70名



- 【概要】 抜海海岸を清掃し、拾い集めた流木でプランターを作製している。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施。本年からは稚内市役所主催の海岸清掃に参加し、流木を集めた。
- 【日時】 平成22年5月30日（日）海岸清掃と流木集め、
7月17日（土）流木プランター制作
- 【場所】 （海岸清掃と流木集め）抜海海岸
（流木プランター制作）風のがっこう稚内
- 【主催】 稚内みなとまちづくり懇談会・風のがっこう稚内
- 【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、稚内測量設計協会、稚内北星学園大学、一般市民。
- 【参加人数】 約10名



最北フラワーマラソン大会

- 【概要】 礼文観光協会も協賛して記念品（町外参加者のみ）を提供している。翌日の利尻島一周マラソン（利尻島悠遊賢人G ※ ゆうゆうらんになぐ）とも連携して実施している。
- 【日時】 平成22年6月5日（土）
- 【場所】 礼文島内
- 【主催】 最北フラワーマラソン大会実行委員会
- 【協力協賛】 礼文町観光協会・宗谷シーニックバイウェイ
- 【参加人数】 224名



2010 WAKKANAI みなとコンサート

【概要】 稚内の観光名所であり、北海道遺産にも指定された歴史的建造物「北防波堤ドーム」を活用し、市民と共にみなとの重要性を考えつつ、最北の稚内の夏を楽しみ、かつこれらの稚内に夢と活気を与えるべく、住民主体の音楽会を開催した。

【日時】 平成22年8月22日（日）11:00～16:00

【場所】 北防波堤ドーム

【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク

【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、FMわっぴー、稚内港湾事務所工事安全連絡協議会、北海道みなとの文化振興機構、他

【参加人数】 約5,000名 （※他のイベント等からの流れもあり）



- 【概要】 宗谷S B Wエリアの6観光協会長が集い、エリア内観光について行政の枠を越えて協議を行い、東京・名古屋合同PR事業や各地事業の報告、企画等を行っている。
- 【日時】 平成22年9月17日（金）17:00～
- 【場所】 稚内市内（稚内商工会議所内会議室）
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート観光・情報分科会
- 【参加人数】 13人

SOYA-KOEGAKE キャンペーンの企画

SOYA-KOEGAKE キャンペーン 開催概要

ここ数年、宗谷管内の観光客の入込が減少傾向を続けており、歯止めがなかなかかきません。点ではなく面として連携をしながら展開をしようとする宗谷シーニックバイウェイの観光・情報分科会では、今までもさまざまな取り組みをしてきました。

- ① 宗谷シーニックバイウェイルート内観光協会長サミット
- ② アクセス（陸・海・空）連携
- ③ 東京・名古屋合同PRキャンペーン
- ④ ANA総研を交えての事業展開（9月のチャーター機事業）
- ⑤ 北宗谷広域観光推進協議会の設置
- ⑥ 地域間コミュニケーションの構築 など

観光協会長サミットでは、地域における自らの課題、旅行会社の課題、交通に関する課題など広範囲に議論を重ねてきました。

つきましては、今回「連携」ということでシーニック審査員特別賞を戴いたことを機に、具体的な連携した取り組みとして、宗谷シーニックバイウェイ内で予算を掛けない取り組みとして「声がけキャンペーン」を実施することができなにかご提案をします。

これは、おもてなしをしっかりと見せる形にすること、地域が一緒にやっているという連携啓発を取り組みとしたいと考えております。

<実施内容 案>

1. 期間別声かけ

ずっとただ同じ「いらっしゃいませ」ではなく、ある程度期間を区切って声をかけていく、それも内容を変えることで、宗谷全体の一体感を作り出すようにする。（内容は要検討）

- （1）5月1日～6月30日

宗谷では観光の皮切りからピーク期となります。この時期には「ようこそ 宗谷へ」

- （2）7月1日～8月31日

個人客が増えていく時期となります。この時期には

「遠いところ ありがとうございます」

- （3）9月1日～9月30日

本州は残暑厳しいときで、当地はショルダーに向かうこの時期には

「お待ちしております」

2. 参加のしるし



本キャンペーンに参加をいただける方（施設・個人単位）にはキャンペーン用貼付バッジを装着していただき、装着者には意識付けの意味、観光のお客様にはお迎えするホスピタリティを十分発揮する者という証として付けていただきます。

事前申し込みとして制作し1個200円程度で販売。販売益の一部は宗谷シーニックバイウェイらしく、観光の基礎を成している自然を守るため環境整備事業へ寄付をする。

3. 評価

インターネットを活用して、素敵な声かけをしてくれた施設や個人を観光客の方が投票できるようにします。人気が高い施設や個人は、期間終了後（9/30以降）宗谷シーニックから表彰を行い、活性化を図るとともに次年度への弾みとしてもらう。

4. その他

本企画は各観光協会副会長さん（6エリア）で委員会を組織していただき取り組んでいただくことで、各観光協会のコミュニケーションを高めてもらうことも目論見したいと思っております。

民宿サミットの企画

宗谷シーニックバイウェイ 民宿サミット 開催概要

稚内市（18軒）、猿払村（2軒）、利尻町（7軒）、利尻富士町（0軒）、礼文町（20軒）と宗谷シーニックバイウェイのエリアには、47軒の民宿があります。昨今の旅行需要が変化し厳しい中で、民宿の皆様もあらたな展開が求められています。

一方で、民宿ならではの個々への細かいサービス、温かいふれあいを求めている観光のお客様が後を絶えません。民宿はまさしく地域の個性的な存在ですが、やはり今まではない展開が不可欠であります。

今年2月に礼文町の宿泊組合様から「昔は宗谷の民宿は顔も良く知っていて、お互いに施設紹介をしたりしたが、今では良く知らないし、集まるきっかけもない」との声から宗谷シーニックが声かけ役を引き受けさせていただき、地域の個性をひとつでも多く連携できるような「民宿サミット」の開催を提案いたします。

事業名 宗谷シーニックバイウェイ 民宿サミット

日時 平成22年11月上旬

場所 稚内市

内容 宗谷シーニックバイウェイのエリア内の民宿の方々にご案内をして研修と懇親をかねて実施。

<次 第>

1. 開 会

2. 挨拶 宗谷シーニックバイウェイ代表

世話人 礼文島宿泊業組合長

3. 研 修 「〇〇〇〇（未定）」

札幌国際大学観光学部教授 河瀬吾郎 氏

4. 懇親会

5. 閉 会

日本海VSオホーツク海グルメバトル

- 【概要】 地理的に日本海とオホーツク海に挟まれた稚内で、それぞれの海で水揚げされる食材を使った大鍋を食べ比べしてもらうイベント。
- 【日時】 平成22年9月19日（日）～9月20日（月・祝）
- 【場所】 稚内港北防波堤ドーム特設会場
- 【主催】 北防波堤グルメまつり実行委員会
- 【主管・共催】 稚内観光協会・同青年部・稚内ホテル旅館業組合女性部・稚内商工会議所女性会
- 【参加人数】 10,080名（2日間の来場者数）



宗谷らしい道路景観の検討

【概要】「宗谷らしい道路景観」を考えていく上で、過年度より良好な沿道景観形成の観点から、道路付属物（標識等の施設）による景観への影響などについて継続的に議論してきており、これらの総括として道路を身近に利用されている地域住民の方々と意見交換を行った。

【日時】平成23年2月2日（水） 13:30～15:30

【場所】稚内合同庁舎 3階会議室

【主催】宗谷シーニックバイウェイ景観・環境分科会、稚内開発建設部

【参加人数】13名



ポニーを走らす会

- 【概要】 冬の稚内の観光メニューとして、普段は郊外の牧場にいるポニーによる馬そり体験（主にちびっ子相手）を楽しんで貰う。
- 【日時】 平成23年2月6日（日）11:00～14:00
- 【場所】 稚内副港市場駐車場
- 【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク
- 【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他
- 【参加人数】 約300名



- 【概要】 稚内港北防波堤ドームを約1,000個のスノーキャンドルで彩る。
今年は稚内青年会議所が主催する『みなみな祭り』、稚内商工会議所主催の『南極ハイランド』との同一会場での連携開催となり、来場者数も1,000名を超えた。
連携5年目を迎え、各団体、町内会等の参加団体も増加傾向にある。
- 【日時】 平成23年2月12日（土） 13:00～21:00
- 【場所】 稚内港北防波堤ドーム
- 【主催】 稚内みなとまちづくり懇談会
- 【協力協賛】 稚内市、宗谷支庁、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、市内高校3校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、藤建設、中田組、協進運輸、海上保安部、東中おやじの会など
- 【参加人数】 準備 60名、来場者 1,200名



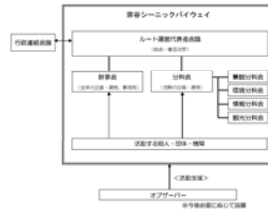
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 岩間 幹生	報告年月:2011/3/31
--------------------	--------------------------	----------------

活動団体

NPO法人映像コミュニティ・ムーブユー／猿払イトワの会／宗谷建設青年会／未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会／利尻島を考える会／利尻富士町宿泊業組合／稚内観光協会青年部／稚内商工会議所／稚内青年会議所／稚内のみなとを考える女性ネットワーク／稚内ホテル旅館業組合／稚内みなとまちづくり懇談会／フラワーマスター稚内／稚内市歴史・まち研究会／稚内観光協会／豊富町観光協会／猿払村観光協会／利尻富士町観光協会／利尻町観光協会／礼文町観光協会／宗谷バス株式会社／ハートランドフェリー株式会社
(計22団体)

ルート運営体制(活動団体)

[illegible]

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ	報告者: 稚内開発建設部	報告年月: 2009/3/31
---------------------	--------------	-----------------

[illegible]

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:稚内開発建設部	報告年月:2011/3/31
--------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	魅せるための景観形成	稚内空港線植樹帯維持活動	平成22年5月29日	(協力協賛)宗谷総合振興局建設管理部	稚内空港線(稚内空港前)の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。	魅せるための景観形成活動として清掃・植栽活動、また流木を利用したプランターづくり、冬の景観を楽しむスノーキャンドルイベントに協賛している。更に宗谷らしい道路景観を念頭に道路付属物のあり方等について検討会を開催した。今後、地域全体で連携し取り組んでいく体制づくりを目指したい。	SY-2
		彩北わっキャナイト2011	平成23年2月12日	(協力協賛)稚内開発建設部、宗谷支庁、稚内市	稚内港北防波堤ドームを約1,000個のスノーキャンドルで彩る。今年は稚内青年会議所が主催する『みなみな祭り』、稚内商工会議所主催の『南極ハイランド』との同一会場での連携開催となり、来場者数も1,000名を超えた。連携5年目を向け、各団体、町内会等の参加団体も増加傾向にある。		SY-11
		彩りプロジェクト2010	平成22年5月30日	(協力協賛)環境省、稚内開発建設部、宗谷支庁、稚内市	抜海海岸を清掃し、拾い集めた流木でプランターを作製している。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施。本年からは稚内市役所主催の海岸清掃に参加し、流木を集めた。		SY-3
環境	自慢できる自然・雄大な自然景観の保全	彩りプロジェクト2010	平成22年5月30日	(協力協賛)環境省、稚内開発建設部、宗谷支庁、稚内市	抜海海岸を清掃し、拾い集めた流木でプランターを作製している。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施。本年からは稚内市役所主催の海岸清掃に参加し、流木を集めた。	環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動を実施している。これらと連携し支援していける体制づくりを目指したい。	SY-3
観光	観光客の心に残る宗谷の旅の演出づくり	彩北わっキャナイト2011	平成23年2月12日	(協力協賛)稚内開発建設部、宗谷支庁、稚内市	稚内港北防波堤ドームを約1,000個のスノーキャンドルで彩る。今年は稚内青年会議所が主催する『みなみな祭り』、稚内商工会議所主催の『南極ハイランド』との同一会場での連携開催となり、来場者数も1,000名を超えた。連携5年目を向け、各団体、町内会等の参加団体も増加傾向にある。	継続的に行われているイベントのほかに、新たなイベントも実施されている。	SY-11
		彩りプロジェクト2010	平成22年7月17日	(協力協賛)環境省、稚内開発建設部、宗谷支庁、稚内市	抜海海岸を清掃し、拾い集めた流木でプランターを作製している。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施。本年からは稚内市役所主催の海岸清掃に参加し、流木を集めた。	これらは活動団体同士の連携により行われているものもあり、更に広がりを見せていくべきものとする。	SY-3
	観光振興・地域づくりイベント	2010WAKKANAIみなとコンサート	平成22年8月22日	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市	稚内の観光名所であり、北海道遺産にも指定された歴史的建造物「北防波堤ドーム」を活用し、市民と共にみなとの重要性を考えつつ、最北の稚内の夏を楽しみ、かつこれらの稚内に夢と活気を与えるべく、住民主体の音楽会を開催した。	今後、国内外問わず対外的にPRしていく必要があるものと考えられ、これらと連携し取り組んでいく体制づくりを目指す。	SY-6
		ポニーを走らす会	平成23年2月6日	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市	冬の稚内の観光メニューとして、普段は郊外の牧場にいるポニーによる馬そり体験(主にちびっ子相手)を楽しんで貰う。		SY-10

5. 平成20年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 岩間 幹生	報告年月:2011/3/31
--------------------	--------------------------	----------------

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。	今年度の取組みの中では観光案内所の情報交換、チャーター機を利用したエリア内観光、フットパス事業などがあり、どの取組みも好評が得られた。次年度ではそれらの情報に関するデータベースの作成などの活動が求められてくる。また看板の整備に関しては、標識に関するワークショップの開催の効果もあって意識が高く、とくに道路標識の多言語化に向けた取り組みに関し、更なる活動の展開が期待されている。 また外国人のもてなしに関しては外語通訳や体験メニューのホスト役などに関する人材、またフットパス事業では案内ガイド役の人材などについて育成の充実が求められてくる。	

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:稚内開発建設部	報告年月:2010/3/31
--------------------	-------------	----------------

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。	官民協働での花植え活動などの長期継続を求めているが、現状として地域住民の参加が少なく、会議をはじめメルマガやニュースレター、各自治体の広報誌なども活用し、個別具体的な情報までを密に提供できる体制を考える必要がある。 これら地域連携に対し、双方を効果的に運用できる調整役の人材育成の充実が求められてくる。	